

第1回 フードテックジャパンにて講演会実施

～見える化・自動化で実現するスマート工場例～

第1回 フードテックジャパン

～食品製造の自動化・省人化のための商談展～

「食品向けロボット・IoT・AIなど 400社出展・計 1,400社が出展」

2020年11月25日(水)～27日(金)

会場: 幕張メッセ

11月27日 講演

講師: 当社 執行役員 技術戦略室長 田村 勇気

演目: <中小の食品会社によるスマート工場化への挑戦

～「見える化」&「自動化」による収益モデルの改善と生産性向上への取り組み～>

講演内容:

五洋食品産業株式会社では、過去に、生産性が数値化できない、工場内の人事評価ができない、詳細な原価差異分析ができない事が問題になっていた。そこで、収益モデルを改善し、生産性を向上させる事を目的とし、その達成のために、ビジネスインテリジェンスやIoTを導入する事で、見える化および自動化に取り組んだ。その結果、スマート工場化が実現したことで、工場内の動きをリアルタイムに把握し、生産性や原価構造が分析できるようになった。その成果により、収益改善が進み、KPIによる客観的な指標を取り入れた事で従業員のやる気が向上し、更なる自動化に向けた投資に対して積極的に取り組めるようになった。

お問い合わせ先: スマート DX プロジェクト smartdx@goyofoods.co.jp

* お気軽にお問い合わせください。



収益モデルの改善と生産性の向上への課題

生産性が数値化できない (どこを改善したらよいか分からない?)

人事評価ができない (頑張っている人がわからない?)

詳細な原価差異分析ができない (値かる商品がわからない?)